

令和6年度 おおずしのよさん



行政が法律に基づき作成する予算書は、聞きなれない言葉や数字が並んでいて、わかりにくいものになっています。そのため、市で行う事業や財政状況について、写真や表、グラフを使いながら、少しでもわかりやすくお知らせするために「おおずしのよさん」を作成しました。

令和6年度は、引き続きSDGsを推進し、市民が健康で心豊かに、将来世代も安心して暮らすことができ、誰もが幸せを実感できる「Well-being(ウェルビーイング)なまち」を目指していくために、4つの重点事業を中心に、将来を見据えた持続可能な地域づくりに取り組んでいくための予算を編成しました。

具体的には、「デジタル化・業務改革」「少子化・子育て支援・人口減少対策」「流域治水・GXの推進・自然との共存」「合併20周年記念事業」の4つの事業を重点事業として位置づけました。

一方で、財政健全化の状況は、平成17年の市町村合併直後に比べると大きく改善していますが、人口減少、超高齢社会が進行するなかで、環境センターの更新や市民文化会館建設などの大規模事業や公共施設の老朽化対策などが控えていることから、将来の財政負担増加が見込まれています。

今後も、多様化する地域のニーズを把握しながら、事務事業の見直しと効率化に取り組み、将来にわたり持続可能な行財政運営と市民福祉の向上に努めてまいります。

この「おおずしのよさん」によって、より多くの方々に大洲市の予算や取組について、少しでも身近に感じていただき、市民の方々と力を合わせて、だれもが幸せを実感できる「ウェルビーイングなまち」をつくるための架け橋となれば幸いです。

1. 予算に関する基礎知識	P1
2. 令和6年度当初予算	P2～3
3. 当初予算額の推移	P4
4. 一般会計の歳入	P5～7
5. 一般会計の歳出	P8～11
6. 令和6年度の重点事業（4事業）	P12～16
7. そのほかの主な事業	P17～19
8. 市債（借金）について	P20～22
9. 基金（貯金）について	P23
10. 健全化判断比率	P24
11. 令和6年度 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について	P25

1. 予算に関する基礎知識

Q. そもそも予算ってなに？

A. 予算とは1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出を前もって見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入（入ってくるお金）があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのための支出（使うお金）がどのくらい必要になるのかを見積もります。これを「当初予算」といいます。これらの内容を一覧表にまとめたものが予算書です。

なお、行政の予算では、収入を「歳入」、支出を「歳出」といいます。



Q. どのような仕組みで予算を決めているの？

A. 市長が予算案を作成し、市議会での審議・議決によって成立します。

市役所には、福祉や農林水産業、建設、商工、教育などの目的に沿った施策を実施している様々な部署があります。各部署において、市民のみなさんからの要望や意見を聞き、必要な行政サービスを検討します。その後、市役所内で協議・検討を重ねたうえで市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市議会では、提出された予算案について、事業内容や費用など様々な面から審議を行います。そして、市議会の議決を受けてはじめて予算が決定されます。



Q. 一度決めた予算は変わることはないの？

A. 変わることがあります。それを補正予算といいます。

当初予算作成時には予測できなかったこと（例えば、台風や豪雨などの自然災害、物価高騰など）に対応するためにお金を使う場合には、予算を変更したり追加したりする必要があります。このような予算を補正予算といいます。補正予算についても、当初予算と同じように予算案を市議会へ提出し、審議・議決を受けて決定されます。



2. 令和6年度当初予算 (1) 予算規模と総額

Q. 大洲市の令和6年度の予算規模は？

A. 一般会計、特別会計、公営企業会計があり、その内訳は円グラフのとおりです。
全会計の総額は、500億428万2千円となっています。



公営企業会計

民間企業と同じように、事業収益によって運営する会計です。大洲市には水道、工業用水道、下水道、病院の4つの公営企業会計があります。

【公営企業会計の予算内訳】

水道	2,200,290千円
工業用水道	49,454千円
下水道	1,765,878千円
病院	3,836,610千円

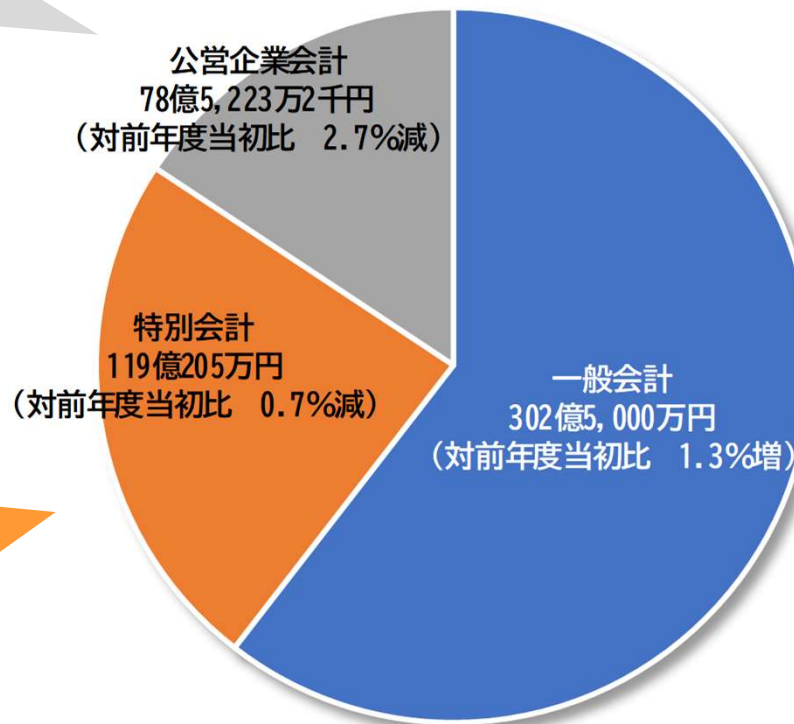
特別会計

特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させた会計です。大洲市には7つの特別会計があります。

【特別会計の予算内訳】

国民健康保険	5,072,534千円	飲料水供給事業	33,131千円
国民健康保険診療所	107,226千円	港湾施設事業	10,707千円
後期高齢者医療	819,772千円	土地取得造成	201千円
介護保険	介護保険事業勘定	5,818,399千円	
	介護サービス事業勘定	40,080千円	

全会計総額 500億428万2千円
(対前年度比 0.2%増)



一般会計

福祉、医療、教育や、道路・公園の整備など基礎的な行政サービスを行う会計で、市民のみなさまに納めていただいた市税は主にこの一般会計に使われています。



うかいの鵜 (ウ)

2. 令和6年度当初予算 (2) 会計別の内訳と前年度との比較



令和5年度との比較では、一般会計が3億8,000万円増、特別会計は8,325万5千円減、企業会計は2億2,138万9千円減となっています。

(単位：千円、%)

会計別		令和6年度		令和5年度		増減額 (A)－(B)	増減率	
		当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比			
一般会計 (a)		30,250,000	60.5%	29,870,000	59.8%	380,000	1.3	
特別会計	国民健康保険	5,072,534	10.1%	5,322,999	10.7%	△250,465	△ 4.7	
	国民健康保険診療所	107,226	0.2%	109,005	0.2%	△1,779	△ 1.6	
	後期高齢者医療	819,772	1.7%	725,672	1.4%	94,100	13.0	
	介護保険	介護保険事業勘定	5,818,399	11.6%	5,697,555	11.4%	120,844	2.1
		介護サービス事業勘定	40,080	0.1%	38,313	0.1%	1,767	4.6
	飲料水供給事業	33,131	0.1%	34,485	0.1%	△1,354	△ 3.9	
	港湾施設事業	10,707	0.0%	10,211	0.0%	496	4.9	
	土地取得造成	201	0.0%	201	0.0%	0	0.0	
	農業集落排水事業	0	－	31,847	0.1%	△31,847	皆減	
	温泉事業	0	－	15,017	0.0%	△15,017	皆減	
小 計 (b)		11,902,050	23.8%	11,985,305	24.0%	△83,255	△ 0.7	
企業会計	水道事業	2,200,290	4.4%	2,377,681	4.8%	△177,391	△ 7.5	
	工業用水道事業	49,454	0.1%	34,647	0.1%	14,807	42.7	
	下水道事業	1,765,878	3.5%	1,607,188	3.2%	158,690	9.9	
	病院事業	3,836,610	7.7%	4,054,105	8.1%	△217,495	△ 5.4	
	小 計 (c)	7,852,232	15.7%	8,073,621	16.2%	△221,389	△ 2.7	
合 計 (a) + (b) + (c)		50,004,282	100.0%	49,928,926	100.0%	75,356	0.2	

3. 当初予算額の推移

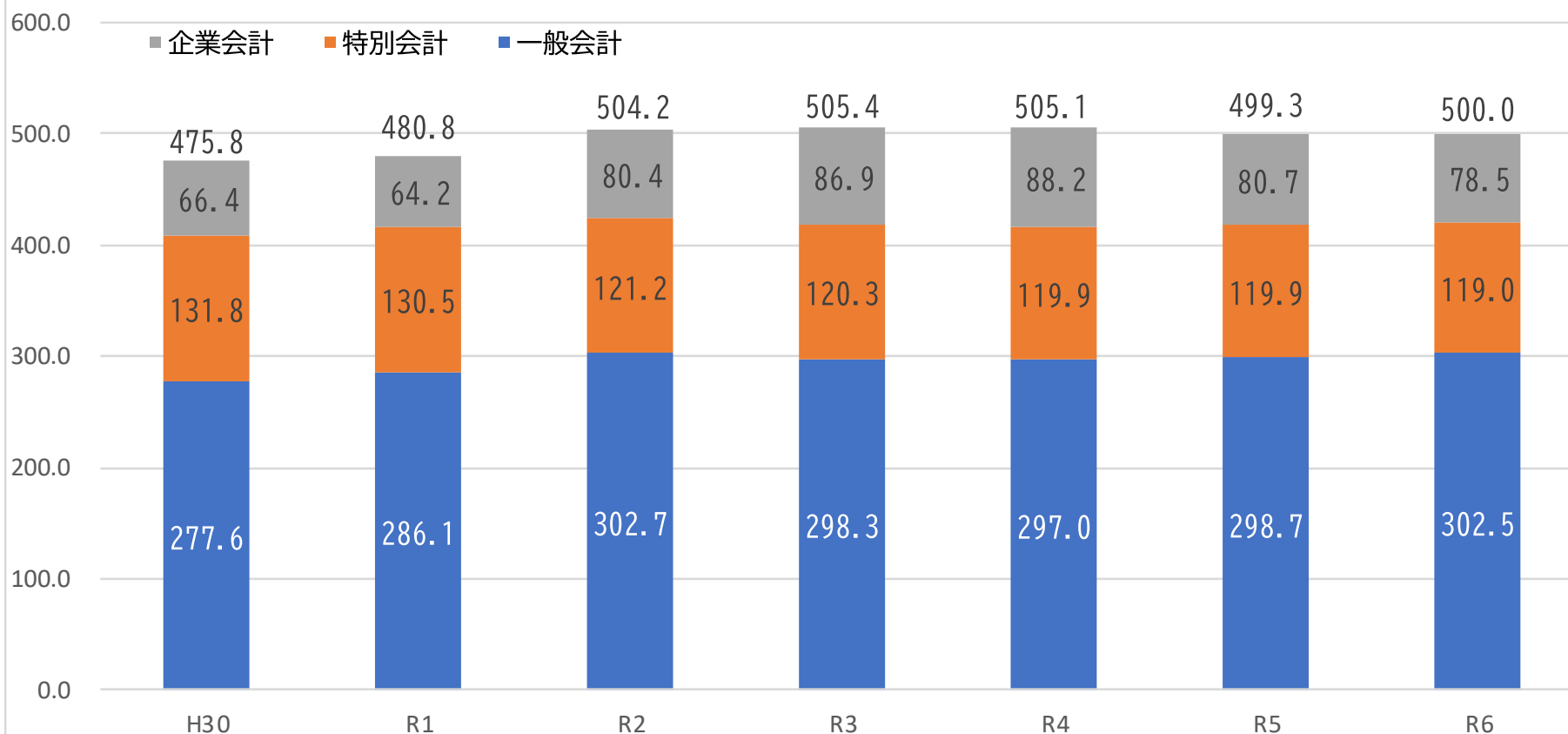
当初予算額の推移は下の表のとおりです。

令和6年度当初予算は、一般会計で302億5千万円となり、平成17年の市町村合併以降では、令和2年度(302億7千万円)に次いで2番目の予算規模となりました。全会計を合わせた予算総額は、500億428万2千円(過去4番目の規模)です。



当初予算額の推移

(単位：億円)





4. 一般会計の歳入

Q. 収入（歳入）にはどんなものがあるの？

A. 市税や地方交付税、国・県支出金などの収入（歳入）があります。●が自主財源と呼ばれるものです。

(単位：千円、%)

款別			令和6年度		令和5年度		増減額 (A)－(B)	増減率 (%)
			当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)		
●	市 税		4,347,108	14.4	4,292,088	14.4	55,020	1.3
	地 方 譲 与 税		498,058	1.6	455,558	1.5	42,500	9.3
	利 子 割 交 付 金		3,500	0.0	8,000	0.0	△ 4,500	△ 56.3
	配 当 割 交 付 金		17,500	0.1	20,500	0.1	△ 3,000	△ 14.6
	株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金		20,500	0.1	14,000	0.1	6,500	46.4
	法 人 事 業 税 交 付 金		117,000	0.4	73,000	0.2	44,000	60.3
	地 方 消 費 税 交 付 金		1,228,000	4.1	1,080,000	3.6	148,000	13.7
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		7,000	0.0	8,500	0.0	△ 1,500	△ 17.6
	自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金		46,000	0.1	24,000	0.1	22,000	91.7
	地 方 特 例 交 付 金		25,500	0.1	18,000	0.1	7,500	41.7
	地 方 交 付 税		10,886,543	36.0	10,628,365	35.6	258,178	2.4
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		4,500	0.0	5,000	0.0	△ 500	△ 10.0
●	分 担 金 及 び 負 担 金		195,396	0.6	213,991	0.7	△ 18,595	△ 8.7
●	使 用 料 及 び 手 数 料		446,559	1.5	468,028	1.6	△ 21,469	△ 4.6
	国 庫 支 出 金		2,838,782	9.4	3,325,415	11.1	△ 486,633	△ 14.6
	県 支 出 金		1,786,011	5.9	1,571,763	5.3	214,248	13.6
●	財 産 収 入		69,367	0.2	31,501	0.1	37,866	120.2
●	寄 附 金		302,002	1.0	342,002	1.1	△ 40,000	△ 11.7
●	繰 入 金		2,297,712	7.6	1,291,817	4.3	1,005,895	77.9
●	繰 越 金		1,100,000	3.6	2,000,000	6.7	△ 900,000	△ 45.0
●	諸 収 入		748,335	2.5	578,637	1.9	169,698	29.3
	市 債		3,264,627	10.8	3,419,835	11.5	△ 155,208	△ 4.5
合 計			30,250,000	100.0	29,870,000	100.0	380,000	1.3
内 訳	●	自 主 財 源	9,506,479	31.4	9,218,064	30.9	288,415	3.1
		依 存 財 源	20,743,521	68.6	20,651,936	69.1	91,585	0.4



4. 一般会計の歳入 (1) 自主財源と依存財源

収入には大きく、自主財源と依存財源があります。自主財源は、市税など大洲市が自主的に調達できるお金です。依存財源は、国や県からもらうお金や市債（借金）のことです。

自主財源

○市税

みなさんから市に納めていただく税金

○分担金及び負担金

市が行う事業などにより特に利益を受ける人から徴収するお金（保育料や老人ホームの負担金など）

○使用料及び手数料

公共施設の使用料や住民票の交付手数料など

○繰越金

前年度から繰越したお金

依存財源

○地方交付税

全国の市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付されるお金

○譲与税・交付金等

国税や県税のうち一定の基準によって各市町村に譲与(交付)されるお金

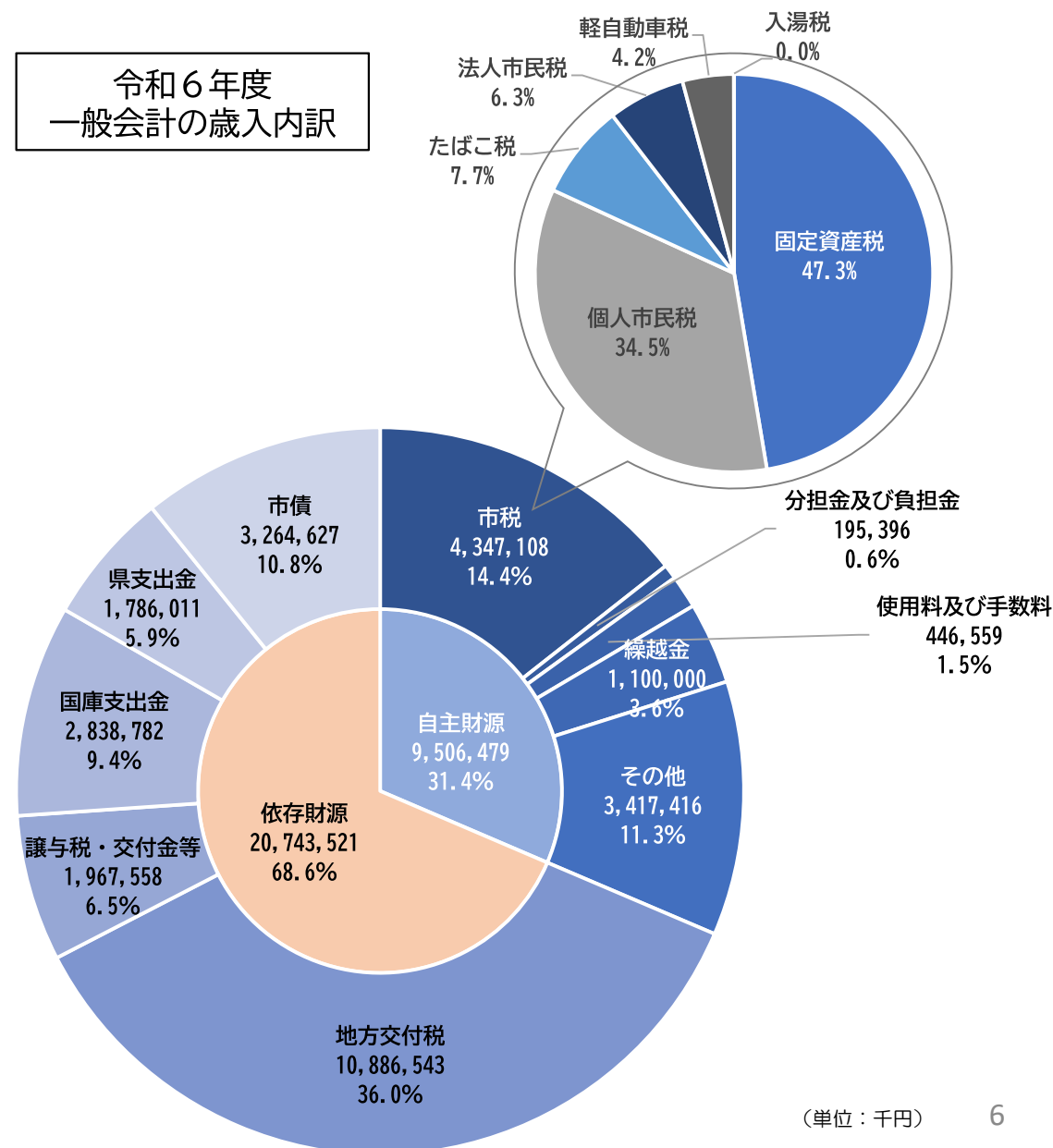
○国庫(県)支出金

道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国(県)から交付されるお金

○市債

国や金融機関などから借り入れるお金

令和6年度
一般会計の歳入内訳



(単位：千円)

4. 一般会計の歳入 (2) 自主財源と依存財源の推移

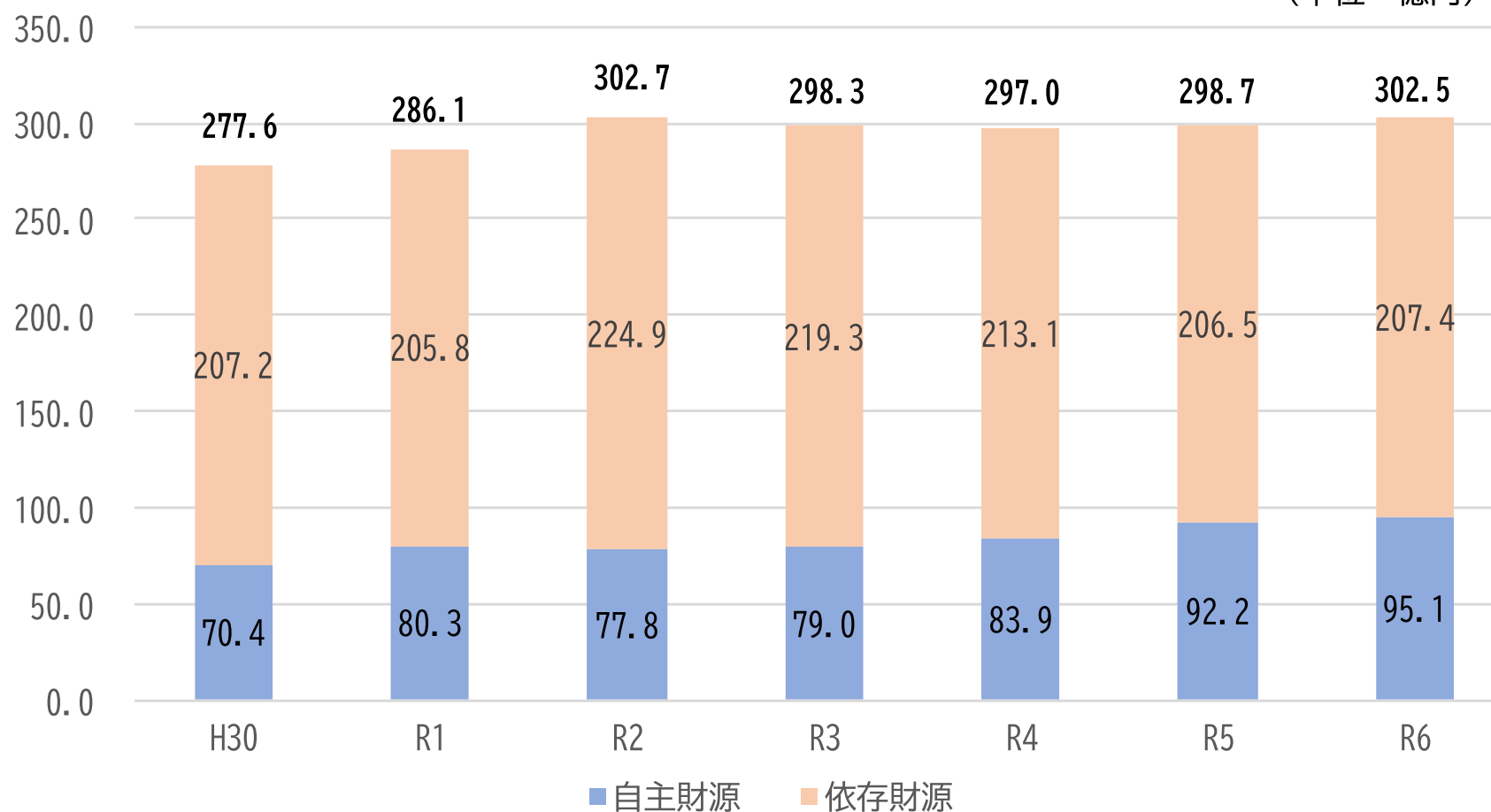
大洲市では、一般会計の歳入に占める自主財源の割合は約3割で、財源の約7割を国や県からの支出金、地方交付税などに依存しています。

収入全体に占める自主財源の比率が高いほど、安定的かつ自主的な行政サービスを提供することができます。



自主財源と依存財源の推移

(単位：億円)



5. 一般会計の歳出 (1) 目的別

Q. 支出（歳出）にはどんなものがあるの？

A. 支出（歳出）は、議会の運営や、高齢者や児童などの社会福祉サービスに要する経費、道路や公園の維持修繕費、学校教育などに要する経費などの「目的別」に分類すると以下の表となります。



(単位：千円、%)

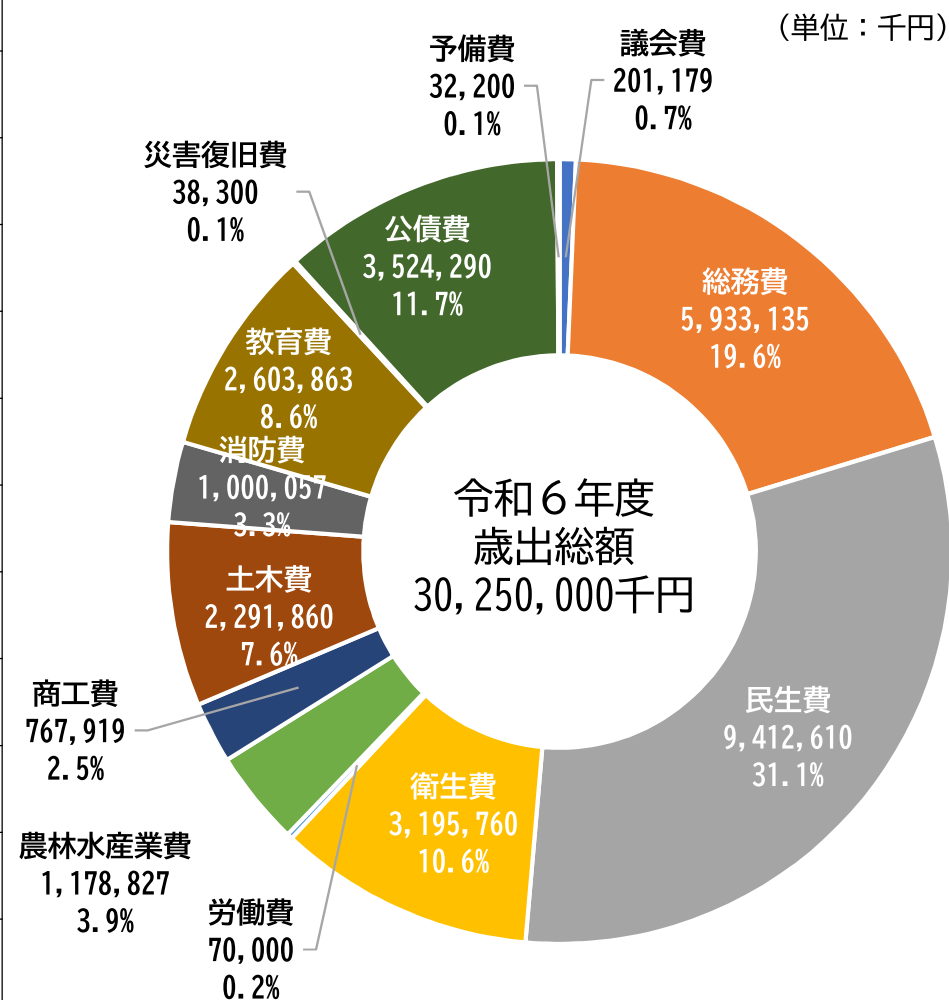
目的別	令和6年度		令和5年度		増減額 (A) - (B)	増減率 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (A)	構成比 (%)		
議 会 費	201,179	0.7	200,412	0.7	767	0.4
総 務 費	5,933,135	19.6	4,830,958	16.2	1,102,177	22.8
民 生 費	9,412,610	31.1	8,989,365	30.1	423,245	4.7
衛 生 費	3,195,760	10.6	3,318,945	11.2	△ 123,185	△ 3.7
労 働 費	70,000	0.2	70,000	0.2	0	0.0
農 林 水 産 業 費	1,178,827	3.9	1,154,803	3.9	24,024	2.1
商 工 費	767,919	2.5	903,395	3.0	△ 135,476	△ 15.0
土 木 費	2,291,860	7.6	3,269,922	10.9	△ 978,062	△ 29.9
消 防 費	1,000,057	3.3	1,048,903	3.5	△ 48,846	△ 4.7
教 育 費	2,603,863	8.6	2,459,177	8.2	144,686	5.9
災 害 復 旧 費	38,300	0.1	12,500	0.0	25,800	206.4
公 債 費	3,524,290	11.7	3,578,520	12.0	△ 54,230	△ 1.5
予 備 費	32,200	0.1	33,100	0.1	△ 900	△ 2.7
合 計	30,250,000	100.0	29,870,000	100.0	380,000	1.3

5. 一般会計の歳出 (1) 目的別

目的別とは、「何のために使うのか」という視点で分類したものです。



議会費	市議会運営に使うお金
総務費	市役所の管理や戸籍、税の事務に要する経費
民生費	高齢者や児童などの社会福祉サービスに要する経費
衛生費	健康づくりや環境衛生、廃棄物処理に要する経費
労働費	雇用の促進や勤労者の福祉に使うお金
農林水産業費	農林業や水産業の振興に要する経費
商工費	商工業や観光の振興に要する経費
土木費	道路や公園などの整備、維持管理に要する経費
消防費	消防や防災対策に要する経費
教育費	学校教育や生涯学習、スポーツ振興に要する経費
災害復旧費	災害復旧に使う経費
公債費	市債(借金)の返済のための経費
予備費	自然災害などの緊急な対応が必要になった場合の経費



5. 一般会計の歳出 (2) 性質別

令和6年度の支出を職員の人件費や児童手当、各種医療費などの扶助費、市債の返済金となる公債費などの「性質別」に分類すると以下の表となります。



(単位：千円、%)

性質別	令和6年度		令和5年度		増減額 (A) - (B)	増減率 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (A)	構成比 (%)		
人件費	5,852,963	19.3	5,368,288	18.0	484,675	9.0
物件費	4,628,525	15.3	4,129,476	13.8	499,049	12.1
維持補修費	309,715	1.0	268,224	0.9	41,491	15.5
扶助費	4,280,746	14.2	4,388,346	14.7	△ 107,600	△ 2.5
補助費等	4,010,205	13.3	3,835,450	12.8	174,755	4.6
普通建設事業費	4,295,109	14.2	4,551,220	15.2	△ 256,111	△ 5.6
災害復旧費	38,300	0.1	12,500	0.0	25,800	206.4
公債費	3,524,290	11.7	3,578,425	12.0	△ 54,135	△ 1.5
積立金	557,898	1.8	923,275	3.1	△ 365,377	△ 39.6
出資金	164,565	0.5	196,865	0.7	△ 32,300	△ 16.4
貸付金	140,200	0.5	140,200	0.5	0	0.0
繰出金	2,415,284	8.0	2,444,631	8.2	△ 29,347	△ 1.2
その他	32,200	0.1	33,100	0.1	△ 900	△ 2.7
合計	30,250,000	100.0	29,870,000	100.0	380,000	1.3

5. 一般会計の歳出 (2) 性質別

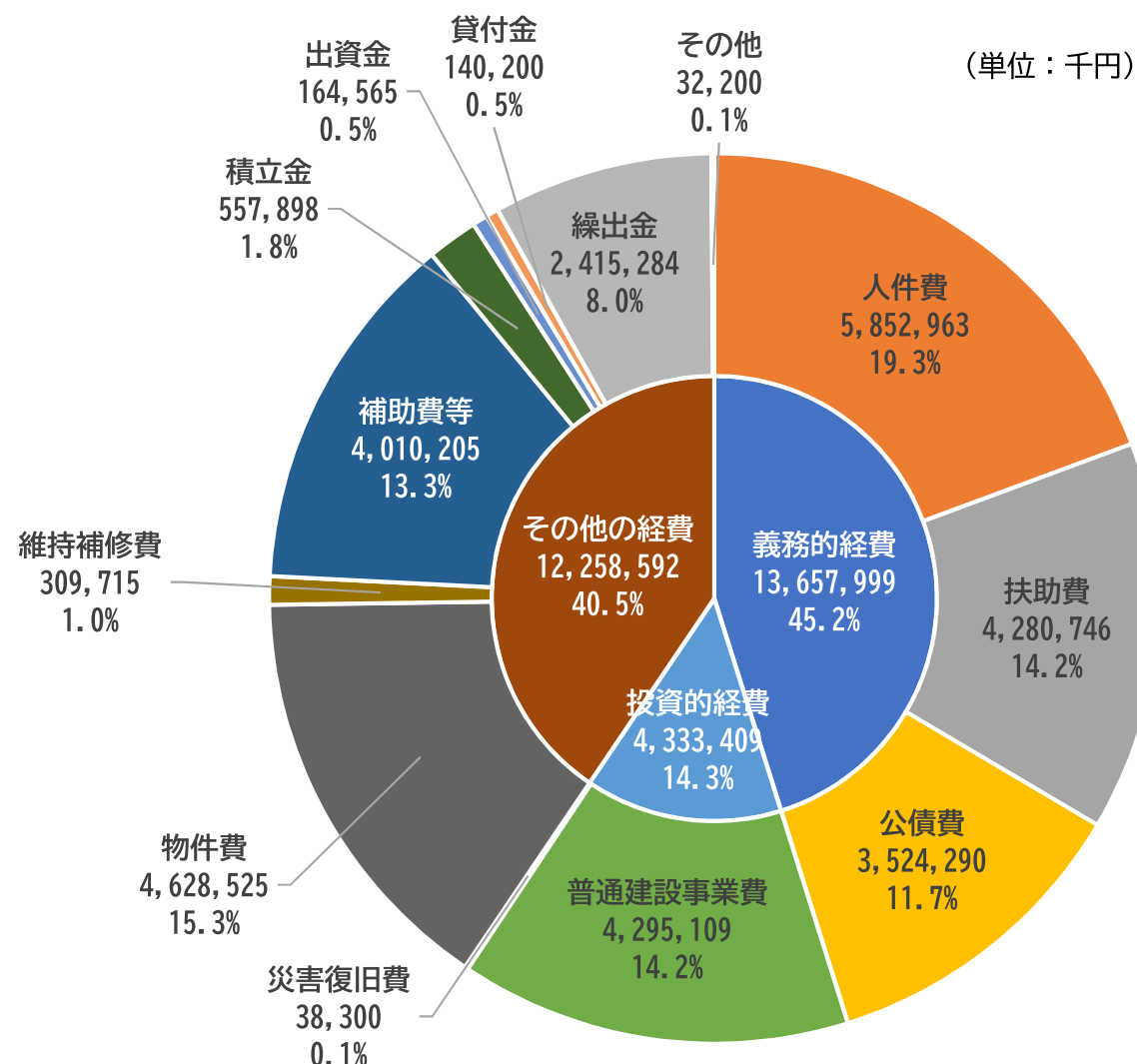
性質別とは、「どんなことに使うのか」という視点で分類したもので、大きく「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分類することができます。

「義務的経費」の割合が大きくなると市が自由に使えるお金が少なくなることを意味しています。



●義務的経費	支払が義務的なもの
人件費	議員の報酬や職員の給料
扶助費	児童手当や乳幼児、重度心身障害者医療費など
公債費	市債(借金)の返済金
●投資的経費	資本形成につながるもの
普通建設事業費	道路や公園、学校など公共施設の建設費
災害復旧費	災害により被災した施設の復旧費
●その他の経費	
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営費など
維持補修費	道路や施設の維持修繕費
補助費等	各種団体などへの補助金や組合への負担金など
積立金	基金(貯金)に積み立てを行うための経費
出資金	公益事業へ支出する経費
貸付金	預託金などの貸付を行うための経費
繰出金	他の会計へ支出するための経費

令和6年度一般会計当初予算を性質別に分類



6. 令和6年度 大洲市の重点事業（4事業）

Q. 令和6年度は、どんなことをするの？

A. 令和6年度当初予算では、「DX」「少子化」「GX」「20周年」をキーワードに4つの事業を重点事業としています。市民のみなさんが健康で心豊かに、安心して暮らすことができ、誰もが幸せを実感できる「Well-being（ウェルビーイング）なまち」となるよう取り組んでいきます。



【DX】デジタル化・業務改革

BPR（業務改革）を実施することで、市民生活の利便性の向上と行政の効率化に取り組み、デジタル技術も活用して、地域課題の解決と産業の活性化を図ります。



【少子化】少子化対策・子育て支援

保育料無料化を第2子以降へ拡大するほか、高校生世代までの子ども医療費無償化や出産世帯への応援事業、認定こども園の整備など、子育て世代の負担軽減と定住しやすい環境整備に努めます。



【GX】流域治水・GXの推進・自然との共存

流域治水と連携して「田んぼダム」などによる雨水貯留を推進し、気候変動に対応した防災・減災対策、内水対策に取り組み、脱炭素化や再生可能エネルギー活用についての調査研究を進めます。



【20周年】合併20周年記念事業

市町村合併20周年記念式典、地域イベントなどを拡充した記念事業や20周年を契機として新たに「ハゼの細道プロジェクト」「郷土の先哲顕彰事業」「大洲市史編纂事業」に取り組みます。



6. 令和6年度重点事業【DX】デジタル化・業務改革〔351,163千円〕

「◎」は新規事業

DX推進事業	26,636千円
ポイント	企画情報課
○BPR(業務改革)支援業務委託料	12,447千円
◎業務アプリ構築ツール運用支援業務委託料	1,645千円
◎業務アプリ構築ツール利用料	545千円
◎生成AIサービス利用料	1,176千円
業務アプリや生成AIサービスを活用して業務を効率化します。	

情報セキュリティ強化対策事業(117,793千円) 拡充	62,784千円
ポイント	企画情報課
○セキュリティ強靱化用仮想化基盤更改賃借料	62,784千円
不正アクセスや巧妙となっている標的型攻撃等に対応するため、インターネットアクセス用仮想環境やインターネットメールフィルタリング等のシステムを構築し、セキュリティリスク対策を強化します。	

地域イントラネット管理経費(272,528千円) 新規	88,273千円
ポイント	企画情報課
◎大洲エリアネットワーク切替業務委託料	13,640千円
◎光回線化に伴うコアシッチ設定変更業務委託料	10,714千円
◎イントラネット伝送路撤去工事実施設計委託料	60,940千円
イントラネット伝送路をNTT西日本の光通信サービスに切り替えていくための回線構築と設定変更を行いながら、役目を終えた自営のイントラネット回線を撤去するための設計業務に取り組みます。	

保育所等ICT化推進事業	5,281千円
ポイント	子育て支援課
○保育支援システム運用保守業務委託料	1,901千円
○保育支援システム運用OA機器・タブレットリース料	3,244千円
保育に関する記録や保護者との連絡、子どもの登園管理などの業務をICT化することで保育士の負担軽減を図ります。	

スマート農業推進モデル事業	4,400千円
ポイント	農林振興課
○スマート農業推進モデル事業費補助金	4,400千円
農作業の省力化、農産物の高品質生産を図るスマート農業を推進するため、ICTなど先端技術を活用した施設整備や、スマート農業機械(トラクター自動操舵システム、農業用ドローンなど)の導入を支援します。 上限150万円 補助率1/2	

ICT教育推進経費	16,474千円
ポイント	教育総務課
○ICT支援員の配置(報酬・職員手当等)	8,827千円
○ICT機器運用保守支援業務委託料	6,072千円
○愛媛新聞forスタディ年間利用料	770千円
学校のITC環境を効果的に活用してGIGAスクール構想を推進します。	

その他のDX関連予算	147,315千円
◎人事管理システム使用料	7,409千円
◎無人航空機(ドローン)購入経費	672千円
◎戸籍システム標準化・共通化事業	22,638千円
◎健康管理システム改修業務(標準化対応)	2,485千円
◎農地地図等作成業務委託料	7,333千円
◎官民共創拠点施設運営事業	8,447千円
◎外国語翻訳機能導入(ランニングコスト)	3,520千円
○情報通信環境整備事業(小・中学校)	53,728千円



6. 令和6年度重点事業【少子化】少子化・子育て支援・人口減少対策〔748,647千円〕

「◎」は新規事業

第2子以降保育料無料化事業	76,640千円
ポイント	子育て支援課
◎第2子保育料・給食費無料化事業費	35,926千円
○第3子以降保育料・給食費無料化事業費	40,714千円
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年度より第3子以降としていた保育料・給食費無料化を第2子以降に拡大します。	
子ども医療費(174,516千円)	対象者拡大分 103,177千円
ポイント	市民課
○児童医療費(小中学生,高校生世代)助成	103,177千円
高校生世代までの通院・入院医療費を無償化します。	
○乳幼児医療費	(71,339千円)
子育て環境整備事業	48,591千円
ポイント	子育て支援課
○一時預かり拡充事業補助金	800千円
○U I J ターン保育士支援事業補助金	2,000千円
○若年出産世帯応援事業補助金(29歳以下)	16,000千円
○若年出産世帯奨学金返還支援事業補助金(29歳以下)	6,000千円
○出産世帯応援事業補助金(30歳以上)	20,000千円
○出産世帯奨学金返還支援事業補助金(30歳以上)	3,750千円
大洲市子育て応援事業	5,773千円
ポイント	子育て支援課
○第1子おむつ券交付事業扶助費	5,500千円
第1子のお産時に紙おむつ購入券を配付します(1,000円券×50枚)。	
三善・八多喜地区認定こども園施設整備事業	359,888千円
ポイント	子育て支援課
◎監理業務委託料 10,483千円, 認定こども園建設工事	349,405千円
三善保育所、粟津保育所を統合した認定こども園を整備します。	

放課後児童健全育成事業(166,671千円)	拡充 40,148千円
ポイント	生涯学習課
○職員報酬・期末勤勉手当(支援員)	(140,935千円)
延長保育及び土曜保育のニーズに対応できるように、朝と夕方の時間帯をそれぞれ30分延長し、年間を通じて土曜一日保育ができるよう児童クラブの支援員を増員します。	
不妊治療費等補助事業	7,213千円
ポイント	保健センター
◎不妊治療市外交通費補助金	1,500千円
市外医療機関を受診した際の交通費の一部を助成します。	
○妊活支援補助金1,200千円, 先進医療不妊治療費補助金	1,500千円
不妊治療費補助金3,000千円	
その他の少子化対策関連予算	107,217千円
○大学生等生活支援事業	2,732千円
○移住・定住支援事業	38,181千円
○ふれあい交流イベント支援、婚活応援事業補助金	720千円
○保育所、認定こども園、幼稚園の修繕、改修工事など	18,197千円
◎拡大新生児スクリーニング検査費補助金	2,300千円
○出産・子育て応援交付金事業	24,976千円
○新ひめボス宣言事業所支援事業	3,715千円
○発達障がい児家族等支援事業	2,977千円



6. 令和6年度 重点事業【GX】治水対策及びGXの推進・自然との共存〔244,061千円〕

「◎」は新規事業

流域治水対策推進事業 1,793千円

ポイント

農山漁村整備課

- 田んぼダム推進に伴う堰板購入費(消耗品費) 1,076千円
 - 堰板設置及び管理協力金 525千円
- 水田やため池などが持つ多面的な機能を発揮させ、流域治水を推進するために水田貯留(田んぼダム)の面積を拡大していきます。

肱川減災対策事業 41,556千円

ポイント

治水課

- ポンプ排水業務委託料 5,824千円
 - 排水ポンプ賃借料 6,798千円
 - ◎ポンプ排水業務に伴う資機材(分電盤)購入費 1,166千円
 - ◎内水対策工事請負費 23,000千円
- 新谷、玉川、梁瀬地区で止水壁などの内水対策工事を実施します。

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 70,750千円

ポイント

環境生活課

- ◎再生可能エネルギー設置調査業務委託料 70,000千円
- エネルギービジョンに基づき再生可能エネルギー(肱南地区の再エネ活用による観光促進、地産地消木質バイオマス、肱川を活用した小水力発電)に係る実現可能性調査を実施します。

新エネルギー関連設備等導入促進事業費補助金 8,000千円

ポイント

環境生活課

- 家庭用蓄電池等設備設置費補助金 4,000千円
- ◎自家用電気自動車購入費補助金 4,000千円

観光資源開発・観光商品化事業(6,899千円) GX関連 4,733千円

ポイント

観光まちづくり課

- 肱川お舟めぐり実証実験業務委託料 4,433千円
- カヌー観光事業補助金 300千円

海洋ごみ回収事業・海洋ごみ発生抑制対策事業 6,000千円

ポイント

環境生活課

- 海洋ごみ回収業務委託料 3,000千円
 - ◎肱川クリーンフェスタ運営業務委託料 2,800千円
- 海洋ごみの発生源の一つである内陸からのごみを抑制するために、啓発イベントを開催します。

児童生徒用木製机椅子整備事業 35,200千円

ポイント

教育総務課

- 木製机椅子製作業務委託料 35,200千円
- 学校における学習環境改善の一環として市産材を活用した机椅子を整備することで木育環境教育を推進します。(令和6年度400セット製作予定)

その他の治水対策、GX推進関連予算 76,029千円

- ◎公用車維持管理費(電動車の導入) 17,200千円
- 安心の森林づくり整備事業 4,304千円
- 公共造林支援事業費補助金 28,038千円
- ◎魚礁清掃補助金 300千円
- 内水面種苗放流事業補助金 1,463千円
- うかい観光振興事業補助金(屋形船の新造船補助) 4,000千円
- ◎樋門堰板設置工事 12,443千円
- ◎堤防フラップゲート堰板管理業務委託料 509千円
- ◎町裏排水樋門改修工事 2,000千円



6. 令和6年度 重点事業【20周年】合併20周年記念事業 [48,400千円]

「◎」は新規事業

合併20周年記念式典関係経費 5,000千円

ポイント

総務課

◎報償費、企画運営業務、記念映像制作業務委託料など 5,000千円
平成17年1月の市町村合併から20周年を記念して、記念式典及びイベントを開催します(2024年1月予定)。

高校生起業家育成事業〔官民共創拠点施設運営事業〕 5,862千円

ポイント

商工産業課

◎報償費及び費用弁償(講師謝金、交通費) 895千円
◎高校生起業家育成業務委託料 4,967千円
官民共創拠点施設を活用してアントプレナーシップ教育を実施することで高校生を中心に起業意識を醸成していきます。

大洲産業フェスタ・ご当地グルメコンテスト 8,125千円

ポイント

商工産業課

○産業フェスタ開催事業費補助金 6,125千円
○特産品開発事業補助金(6,000千円) 拡充 2,000千円
大洲ならではの食文化・食材を生かした新たな料理の開発や、古くから親しまれてきた料理の掘り起こしを行うグルメコンテストを開催します。

大洲城天守復元20周年記念事業 3,730千円

ポイント

観光まちづくり課

◎20周年記念グッズ(入館記念品)作成 578千円
◎映像作成・舞台設営・シンポジウム運営等業務委託料 1,957千円
◎大洲城天守復元事業実績報告書電子書籍化業務委託料 132千円
復元の経緯や歴史を振り返る記念式典、シンポジウムを開催します。

郷土の先哲顕彰事業 1,313千円

ポイント

文化スポーツ課

◎調査旅費、特別展開催経費など 1,313千円
大洲市に縁の深い人物の功績を顕彰します。令和6年度は、五稜郭を設計した武田斐三郎に焦点を当てた事業を展開します。

合併20周年記念事業 3,733千円

ポイント

企画情報課

◎ご当地キャラクターデザイン募集事業 507千円
市内の小・中学生、高校生からご当地キャラクターのデザインを募集し、優秀作品を市のキャラクターとしてデザイン化します。
◎タイムカプセル郵便事業 3,226千円
自分や家族、友達宛に書いた手紙を受け付け、日本郵趣協会のタイムカプセル郵便を利用して30周年を迎えた10年後に届けます。

ハゼの細道プロジェクト 2,258千円

ポイント

農林振興課

◎ハゼ苗移植等業務、植栽予定地支障木伐採業務委託料 1,350千円
◎プロジェクト計画策定・その他ハゼ育成経費 908千円
木蠟の原材料であるハゼの実を活用して、苗木生産から製蠟所まで過程を市内で完結できる体制構築や紅葉するハゼで道路や河川沿いの景観を整えられるよう苗木の安定生産を目指していくプロジェクトを始動します。

その他の合併20周年記念事業関連予算 18,379千円

◎SDGs日本モデル宣言	218千円	◎河辺ふれあいフェスタ1	1,780千円
◎ふれあい交流イベント		◎藤樹まつり	280千円
開催補助金	1,500千円	◎菜の花河川敷イベント3	456千円
◎市民のつどい講演会	1,474千円	◎市民大学 記念講演	2,499千円
◎日本三大芋煮会	480千円	◎大洲市史編纂事業	251千円
◎鹿野川夏まつり	3,585千円	◎(仮称)愛顔わくわくフェスタ	
◎ながはま赤橋夏まつり	2,756千円	in大洲	100千円



7. 令和6年度 そのほかの主要事業（新規・拡充事業など） 「◎」は新規事業

【総務費】

市民文化会館建設事業 872,272千円

ポイント

財政契約課

◎市民文化会館実施設計委託料	181,214千円
◎土地購入費	668,000千円
◎物件移転等補償金	10,000千円
建設予定地を取得して新しい市民文化会館の実施設計を行います。	

地域公共交通対策事業 64,224千円

ポイント

復興支援課

○地域公共交通運行管理業務委託料	23,265千円
○デマンド型交通実証タクシー使用料など	1,182千円
○循環バス運行費補助金	11,000千円
○地方バス路線維持費補助金	21,497千円
○デマンドタクシー運行事業費補助金	3,824千円

防犯カメラ設置等補助金 1,500千円

ポイント

危機管理課

◎防犯カメラ設置等補助金	1,500千円
自治会等による防犯カメラの設置に補助を行います。 1カ所上限15万円 補助率2/3	

肱南地域交流センター建設事業 496,744千円

ポイント

復興支援課

◎測量設計監理等委託料	68,557千円
◎肱南公民館解体、新築工事（工事請負費）	427,735千円
現在の肱南公民館を解体して、地域交流センター新築工事を行います。	

上須戒コミュニティセンター建設事業 21,498千円

ポイント

復興支援課

◎測量設計等委託料	21,172千円
上須戒コミュニティセンターを新築するための設計業務に着手します。	

コミュニティセンター管理経費 334,365千円

ポイント

復興支援課

◎職員報酬、給料、職員手当等（会計年度任用職員）190,321千円 〔修繕料4,000千円、委託料39,478千円、工事請負費30,000千円、 備品購入費4,013千円、その他経費66,553千円〕	
地域自治再編に伴い公民館をコミュニティセンターとして運営します。	

自治会関係経費 218,137千円

ポイント

復興支援課

◎地域づくり事業補助金	10,000千円
◎地域振興一括交付金	202,564千円
自治会と公民館組織の一元化、自治会における事務の簡素化を図るために、各種補助金、交付金、委託料などを地域一括交付金に統合します。	

【民生費】

介護基盤整備事業費補助金 89,780千円

ポイント

高齢福祉課

◎地域密着型サービス施設等の整備（2カ所）	49,600千円
◎介護施設等の看取り環境整備（5カ所）	19,100千円
◎コロナウイルス感染防止対策支援（6カ所）	21,080千円

生活支援・訓練等事業 6,128千円

ポイント

社会福祉課

○障がい者タクシー利用助成事業給付費（拡充）	1,440千円
助成対象者を広げ（課税要件を廃止）障がい者の社会参加を促進します。	

保育所跡地整備事業 30,613千円

ポイント

子育て支援課

◎測量設計監理等委託料	1,045千円
◎旧白滝保育所、三善保育所解体工事費	29,568千円
旧白滝・三善保育所を解体後、跡地を普通公園として整備します。	

7. 令和6年度 そのほかの主要事業（新規・拡充事業など） 「◎」は新規事業



【衛生費】

畜犬登録事業及び野犬等対策経費 3,033千円

ポイント

環境生活課

○猫不妊去勢手術補助金(拡充) 1,664千円
令和5年度のガバメントクラウドファンディングによる寄附金を活用して補助金を増額します。

環境センター運営費 810,177千円

ポイント

環境センター

◎太陽光発電設備設置に係る測量設計委託料 3,300千円
○基幹的設備改良工事(第1期)監理業務,工事請負費 216,260千円
◎ごみ仮置場設置工事,水道設備移設工事 29,964千円
焼却炉を停止する際に受入ごみを仮置きできる仮置場を整備します。

【農林水産業費】

農山漁村地域担い手等支援事業 11,012千円

ポイント

農林振興課

○農山漁村地域担い手等支援事業費補助金 11,000千円
◎就農者機械等支援事業 3,000千円
50歳以上の移住者を対象に営農等に必要の費用の一部を助成します。
上限150万円 補助率1/3

畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費補助金 75,819千円

ポイント

農林振興課

○畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費補助金 75,819千円
価格高騰の影響が続く畜産農家の飼料コスト低減の取組を支援します。

水利施設等保全高度化事業 21,146千円

ポイント

農山漁村整備課

◎換地業務土地登記委託料 3,315千円
○用排水路更新,農道・農業用施設維持修繕工事 17,347千円
野佐来地区の農地整備事業と連携して用排水施設を更新し、水管理の省力化を図り、高収益作物の導入や農地集積を推進します。

農地基盤整備費一般経費 22,044千円

ポイント

農山漁村整備課

◎東大洲地区水利権更新資料作成業務委託料 6,930千円
◎国営峠団地地区排水路測量設計,改修工事費 4,500千円
◎新谷地区ため池防護柵設置,東大洲地区排水路浚渫工事 3,333千円

林業総務費一般経費 5,260千円

ポイント

農林振興課

◎愛媛県植樹祭記念植樹予定森林整備委託料 1,850千円
◎記念植樹予定森林整備(園内遊歩道舗装工事) 2,860千円
令和7年度に予定されている愛媛県植樹祭記念植樹の準備を進めます。

森林経営管理事業 93,827千円

ポイント

農林振興課

◎ハゼの細道プロジェクト関連経費【GX予算:再掲】 2,258千円
◎広葉樹資源活用整備委託料 7,546千円
○大洲市森林経営管理事業費補助金 66,371千円
◎大洲市広葉樹林整備事業 5,250千円
ナラ・クヌギ林の更新に要する経費の一部を助成します。

水産業振興費一般経費 40,718千円

ポイント

農山漁村整備課

◎長浜港小型船だまり浮桟橋設置工事 39,155千円
小型船だまりで使用する浮桟橋を9基設置します。

水産物供給基盤機能保全事業 11,611千円

ポイント

農山漁村整備課

◎喜多漁港(物揚護岸)機能保全工事 5,000千円
◎櫛生漁港(西防波堤)機能保全工事 1,500千円
◎喜多漁港(物揚場)機能保全附帯工事 1,111千円
◎須沢漁港(西護岸)機能保全工事 4,000千円

7. 令和6年度 そのほかの主要事業（新規・拡充事業など） 「◎」は新規事業



【商工費】

消費生活相談事業 4,186千円

ポイント

商工産業課

◎特殊詐欺対策電話機等設置費補助金 200千円
高齢者等を狙った特殊詐欺を未然に防ぐために、特殊詐欺対策電話機の購入費を助成します。

企業誘致事業 31,097千円

ポイント

商工産業課

○中小企業等防災対策支援事業補助金 30,000千円
地域経済と雇用の安定を図るため中小企業等が自ら行う防災対策（水防壁の設置など）に要する経費を補助します。

指定管理施設管理経費 188,760千円

ポイント

観光まちづくり課

○観光施設指定管理委託料 151,297千円
◎指定管理施設経営診断業務委託料 3,446千円
◎測量設計委託料 2,530千円
鹿野川荘駐車場修繕、龍王橋修繕、臥龍山荘不老庵茅葺屋根改修
◎工事請負費（浄化槽改修、エアコン取替、トイレ洋式化など）13,000千円

【土木費】

道路橋りょう維持修繕事業 112,200千円

ポイント

建設課

○修繕料（道路・生活道路補修等） 拡充 37,000千円
○工事請負費（市道維持修繕工事） 拡充 70,900千円

交付金道路整備事業 202,231千円

ポイント

建設課

◎オズメッセ東通り線測量設計委託料 39,000千円
○橋りょう点検業務委託料（90橋） 58,000千円
○工事請負費（舗装修繕、橋りょう修繕） 88,231千円
新谷八多喜新町線、下山辺1号橋、野田団地橋ほか

港湾管理事業 24,002千円

ポイント

長浜支所

◎長浜岸壁電位測定検査委託料 275千円
◎長浜港湾緑地用地測量業務委託料（遊具設置用） 495千円
◎長浜港湾緑地遊具整備工事 17,468千円

【消防費】

消防施設整備事業 32,744千円

ポイント

危機管理課

◎測量設計監理等委託料 7,227千円
大川第3部・長浜第4部詰所改築設計、長浜第3部改築工事監理業務ほか
◎工事請負費（長浜第3部詰所改築、岩谷詰所解体工事ほか） 25,290千円

防災費一般経費 33,606千円

ポイント

危機管理課

◎避難所開設・運営に伴う報償費 2,640千円
◎ヘリポート場外利活用実証実験委託料 2,265千円
◎防災用トイレカー購入費 9,273千円

【教育費】

水泳授業委託事業 3,044千円

ポイント

教育総務課

◎水泳授業委託料 2,614千円
◎スクールバス臨時運行業務委託料 430千円
民間プールを活用した水泳授業の実証事業を行い、水泳授業のあり方やプール改修時期の見直しを検討します。（大洲小、久米小、大洲東中）

大洲南中学校長寿命化改修事業 429,227千円

ポイント

教育総務課

◎仮設校舎賃貸借料 95,334千円
◎長寿命化改修工事 329,846千円
◎仮設校舎ネットワーク、電話設備移設工事など 2,129千円

8.市債（借金）について

Q. どうして借金をするの？

A. 限られた収入の中で施設整備や福祉サービスなど様々な事業を行わなければならないため、道路や学校などの施設を作るときなど、一度に多くのお金が必要となる際には、借入を活用しています。このように、市が借り入れする借金のことを「市債」といいます。

市債には、将来、その施設等を使うこととなる後世代と現世代のみなさんとの間で住民負担の公平のための調整機能が備わっています。



例) 1億円を借り入れて20年間で返済する場合

①借入を行わない場合

1年目の市税などの財源のみで施設整備を行うことにより1年目の負担が大きくな

る

1年目
1億円

2年目
負担無し

.....

20年目
負担無し

②借入を行う場合

返済期間（20年間）でそれぞれの年度の市税などを財源に借入金の返済を行うので1年目の負担が少なくなります。ただし、将来への負担は増えることになります。

1年目
500万円+利息

2年目
500万円+利息

.....

20年目
500万円+利息



市債等を活用して完成した肱川複合公共施設

なお、大洲市では、借入れた市債の返済額について、国からの地方交付税措置がある（返済に対する国の支援がある）事業債を活用することで、将来負担を軽減させています。

例えば、過疎対策事業債では、元利償還金の70%が地方交付税として措置されます。

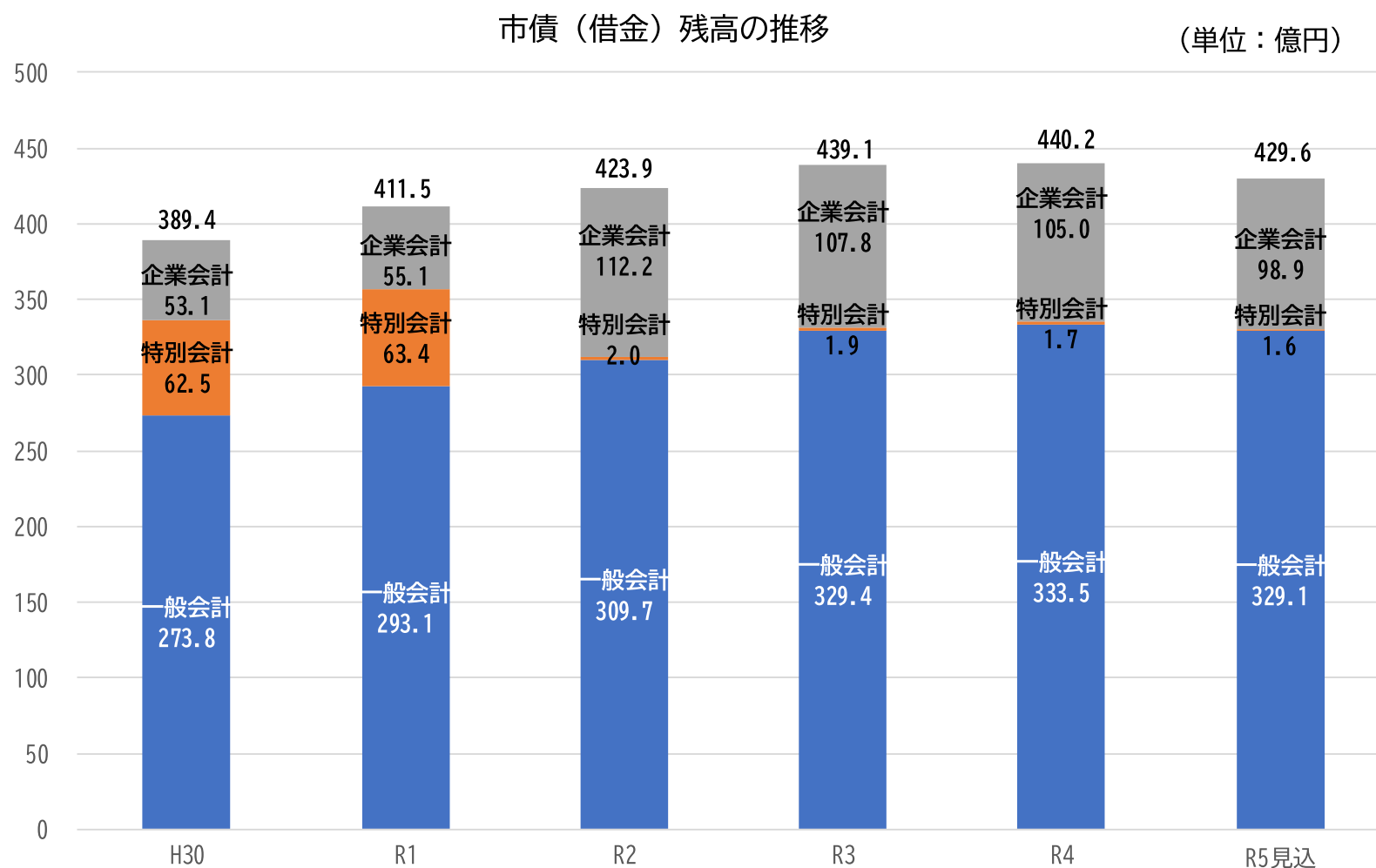


8.市債（借金）について

Q.大洲市にはどのくらい借金があるの？

A. 令和4年決算での市債残高は、一般会計333億4,781万円、特別会計1億7,056万3千円、企業会計104億9,976万8千円、合計440億1,814万1千円となっています。

市債は、道路や学校などを整備するために国や金融機関から借り入れるお金です。平成30年度以降は、大規模災害からの復旧・復興事業や学校施設の建設工事等が集中したため、残高が増加しています。



8. 市債（借金）について

Q. 大洲市の借金是一人あたりどのくらいあるの？

A. 令和5年の市債残高見込み額429億6,222万円を、大洲市の人口39,534人（令和6年3月31日時点）で割ると一人あたり1,086,716円となります。

なお、市債の返済には、受益者が負担する利用料を充てたり国の制度により地方交付税が措置されたりするものがあります。

これらの借金返済に充てる財源を除いたものが、実質的な市債負担額となり、令和4年度決算では、市債残高440億1,814万1千円のうち、実質的な市の負担額は103億3,205万円となります。大洲市の人口40,255人（令和5年3月31日時点）で割ると、一人あたりの実質的な負担額は256,665円となります。



○市債を活用した事例（令和3年度 補助災害復旧事業）

災害により崩れた市道



市債を活用し復旧した市道



9. 基金（貯金）について

基金とは、大洲市の貯金のことです。

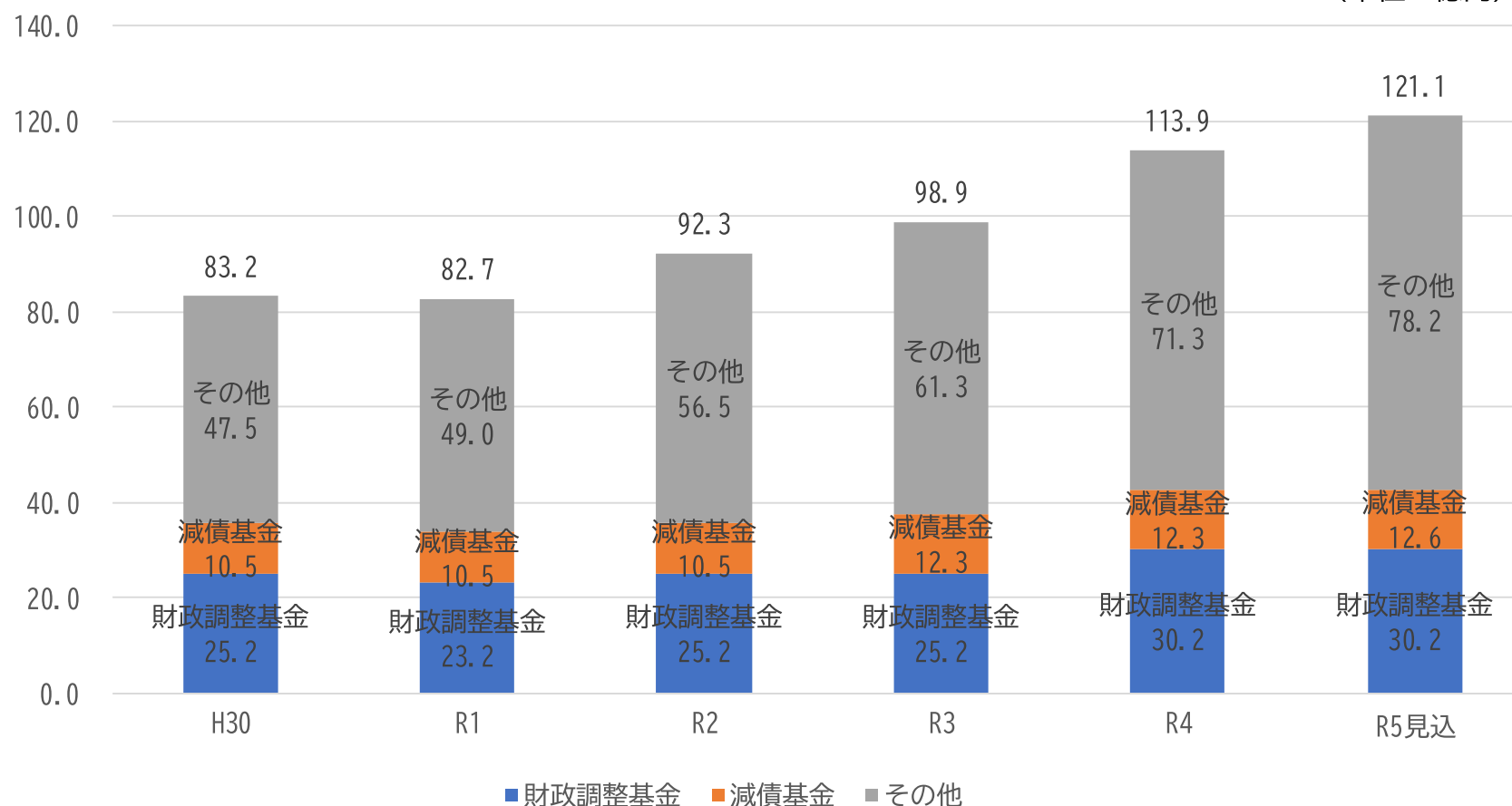
財政調整基金は不況で収入が減ったり、施設整備で多くの費用が必要になったりする年度間の変化に対応するために、減債基金は市債(借金)の返済に充てるために、その他の基金は特定の事業を行うために積み立てしているお金です。一般会計のほか、介護保険事業の運営など特別会計の基金も含まれています。

令和5年度決算見込では、121億1,196万2千円の基金があり、大洲市の人口39,534人（令和6年3月31日時点）で割ると市民一人あたりでは、306,368円の貯金があることになります。



基金（貯金）残高の推移

（単位：億円）



10. 健全化判断比率

Q. 大洲市の財政状況は大丈夫？

A. 市町村ごとに収入や支出の内容が異なっているなかで、全国統一の指標で財政状況を比較できる「健全化判断比率」という指標があります。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの財政指標の総称で、いずれかの指標が基準以上になると財政健全化団体又は財政再生団体（※）になります。大洲市は、いずれの比率も基準内にありますので、健全財政を維持していると言えます。

（※）財政再生団体とは、国の指導の下、公共施設の廃止や使用料の引き上げ、不要不急の事業の廃止、職員の削減、給与引き下げなど財政の立て直しを行う団体のこと。



【健全化判断比率】

指 標	令和4年度	基 準	
	(前年度)	早期健全化	財政再生
実 質 赤 字 比 率	-	12.74%	20.0%
	(-)		
連 結 実 質 赤 字 比 率	-	17.74%	30.0%
	(-)		
実質公債費比率	7.6%	25.0%	35.0%
	(7.1%)		
将 来 負 担 比 率	41.2%	350.0%	
	(41.5%)		

※「-」は赤字額がないことを示します。

【実質公債費比率】

1年間に大洲市が自由に使えるお金(一般財源)が市債の返済にどのくらい充てられているかを示す指標です。大洲市の令和4年度の実質公債費比率は7.6%となり、一般財源の7.6%が市債の返済に充てられていることを示しています。

早期健全化基準の25.0%がイエローカード、35.0%になるとレッドカードが出され、財政再生団体になります。

【将来負担比率】

借入金の返済額を除いて、1年間に大洲市が自由に使えるお金(一般財源)に対して、実質的な負債がどのくらいあるかを示す指標です。大洲市の令和4年度の将来負担比率は41.2%となり、一般財源の規模に対して41.2%の負債があることを示しています。将来負担比率は350%未満が望ましいとされている指標です。

【参考：令和4年度】	全国平均	愛媛県市町平均
実質公債費比率：	7.1%	7.6%（全国27位）
将来負担比率：	21.4%	25.4%（全国28位）



1 1. 令和6年度 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について

地方消費税交付金のうち、平成26年4月1日より5%から8%、令和元年10月1日より8%から10%に消費税率が引き上げられたことに伴う増収分については、社会保障施策（社会福祉、社会保険、保健衛生に関する施策）に要する経費に充てるものとされています。

令和6年度における地方消費税交付金の増収分については、次の社会福祉事業や保健衛生事業に必要な経費の一般財源の一部に充当しています。

（歳入）地方消費税交付金（社会保障財源化分） 6億6,981万9千円

（歳出）社会保障施策に要する経費 71億9,194万8千円

事業名		事業費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち引上げ分の 地方消費税 (社会保障財源化分)
			国庫 支出金	県 支出金	その他		
社会福祉	障害者福祉事業	1,562,081	690,952	402,945	43,000	425,184	69,080
	高齢者福祉事業	170,964			44,719	126,245	20,511
	児童福祉事業	2,125,167	354,486	212,702	206,271	1,351,708	219,617
	母子父子福祉事業	44,357	2,280	20,317	1,000	20,760	3,373
	生活保護扶助事業	700,000	525,000	19,029		155,971	25,341
	総合福祉施設運営事業	49,653			1	49,652	8,067
	社会福祉団体運営補助	84,141				84,141	13,671
	小計	4,736,363	1,572,718	654,993	294,991	2,213,661	359,660
社会保険	介護保険事業	806,554	45,050	22,525		738,979	120,064
	国民健康保険事業	268,986	46,048	155,691		67,247	10,926
	小計	1,075,540	91,098	178,216		806,226	130,990
保健衛生	高齢者医療事業	904,051		173,099		730,952	118,760
	感染症予防事業	147,671	1,633			146,038	23,727
	健康増進事業	203,440	19,883	12,103	53,322	118,132	19,193
	診療所運営事業	22,784			13,935	8,849	1,438
	保健師設置費	102,099			3,304	98,795	16,051
	小計	1,380,045	21,516	185,202	70,561	1,102,766	179,169
合計		7,191,948	1,685,332	1,018,411	365,552	4,122,653	669,819